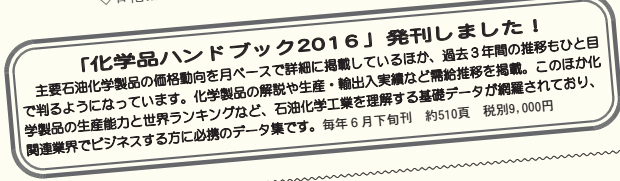


化学各社、投資フェーズへ舵

—投資予定額は大手16社合計で23%増—

サンプル記事は中面をご覧ください。



「石油化学新報」「Jchem-News」活用法のご提案

活用ポイントその1＝「特集・連載・インタビュー」を多数掲載!

シェールガスや石炭などへの原料転換やバイオ系製品の動向、化学業界にとって影響の大きい川下製品の潮流など業界内外の最新トレンドを踏まえ、その動向や影響をデータや図表を駆使して解説します。

	製 品	生産能力 (t/y)	2015年オレフィン		備 考
			消費量(t)	前年実績	
(エチレン)	L D P E	62,100	45,000	45,000	2015/3に9.2万t停止 2013年にSDMIにて能力増 J S RのEPDM向けなど
2015年生産実績	L L D P E	260,300	122,000	145,000	
556,000(565,000)	E O	300,000	250,000	223,000	
センター外受給	V C M	600,000	215,000	184,000	
168,000(130,000)			84,000	69,000	
センター外供給					
▲8,000 (▲29,000)					
合 計		716,000	716,000	666,000	

()内は前年値 ※上記の表はサンプルです

活用ポイントその2＝「市況・価格動向」で営業活動に役立つ資料をご提供!

◇主要石油化学製品の価格動向(2016年1月～6月)①(基礎原料)

製 品	2016-1	2	3	4	5	6
(ナ フ サ)	▲6,600			▲2,600		
国 産 価 格 (円/kg)		34,300			31,600	
輸入通関(MMF) (円/kg)	36,948	31,364	27,737	28,352	29,378	30,964
輸入通関(ドル建) (\$/bbl)	49.2	42.4	39.0	40.6	42.8	45.5
ドル換算レート	119.5	117.6	113.2	111.1	109.0	108.9

【基 礎 原 料】

(エ チ レ ン)	▲13.2			▲5.4		
国内価格、円/kg		98.6			93.2	
東南アジアSPOT、\$/MT	1,050	910	1,120	1,180	1,170	1,080

活用ポイントその3＝「事業戦略・アジア戦略」で世界の動きをくまなくチェック

石化業界の設備投資計画や提携、再編の動きを中心に、注目すべき企業の動向を幅広く取り上げます。記事には表を多用し、生産拠点や能力、投資計画の一覧性を高めています。また、国内のみならず海外企業の動向も多く取り扱います。

Jchem-News ～リニューアルしてより使いやすくなりました～

新 Jchem-News活用ポイント

- 毎日最新記事を配信
- 空き時間・移動中でも閲覧可能
- 過去10年以上にわたるバックナンバーを掲載
- 企業別／製品別／地域別で記事を探せる
- 充実した統計資料集
- 近年の新增設プロジェクト一覧
- 便利な用語集

● 石油化学新報のWeb版である「Jchem- News」を毎日(月～金曜日の午前中) 配信しております。文字や紙面の制限がないため、より充実した情報量と速報性が強み。紙媒体とは一段違った価値を提供しております。

● Jchem-Newsご購入の方は、過去10年以上のバックナンバー記事をご覧いただけるほか、新增設のプロジェクトサマリーのダウンロードなどオリジナルデータベースをご利用いただけます。

The screenshot shows the Jchem-News website interface. At the top, there's a navigation bar with links like '石油化学新報 Web版', 'Jchem-News', and '石油化学新報のご案内'. Below this, there are several featured articles with headlines such as 'エポック、乾式シリカで高機能化進展～日本アエロシールが50周年' and '中国のP.T.A市場、2015年に1,000万t停止も供給過剰変わらず'. On the right side, there's a sidebar with a '注目ランキング' (Featured Ranking) section and a '価格動向資料' (Price Movement Materials) section. The bottom of the page features a '主要石化製品の2016年6月生産・出荷・在庫～化学工業統計速報より' (Main Petrochemical Products 2016 June Production, Shipment, Inventory) section with various links to specific data reports.

「化学各社、業績改善で投資フェーズへ舵」 —投資予定額は大手16社合計で前年度比23%増—

化学大手16社(旭化成、宇部興産、カネカ、JSR、昭和電工、信越化学工業、住友化学、積水化学工業、デンカ、東ソー、トクヤマ、日本触媒、日本ゼオン、三井化学、三菱ガス化学、三菱ケミカルホールディングス)の2016年度連結設備投資額は、前年度実績比24.5%増の1兆1,152億円(一部推定を含む)と大幅に増加する見通し。業績の改善を背景として、積極的な設備投資へ舵を切る各社の姿勢が窺える。今年度は日本国内における投資が活発化している点が特徴的で、案件も競争力強化に向けた合理化や基盤整備だけでなく、各々の戦略分野における増産投資も目立つ。

■国内も増産投資旺盛

日本国内の増産投資は、各社の成長を担う戦略製品が中心となる。市場規模が拡大しているLiB関連では、旭化成がセパレータ「ハイポア」の増設(2016年春完成)を実施。宇部興産も宇部ケミカル工場と堺工場で既存設備の改造および新規設備の設置を行う計画で、宇部は2016年7月、堺は2017年6月の完工・稼働を予定している。

三井化学は紙おむつの需要拡大を受け、名古屋工場内で国内2拠点目となる高機能不織布設備の新設(1万5,000トン、2018年3月営業運転開始予定)を決めた。それでもなお供給不足が予想されるため、さらなる増産投資の検討を進めている。日本ゼオンは富山県氷見市の光学フィルム工場で液晶テレビ用位相差フィルムの第6系列(年産2,400万㎡)増設を決定。量産開始は2017年1月を予定している。

■競争力強化も着々と進展

競争力強化に向けた投資も着々と進んでいる。デンカは、大牟田工場で製造設備の再配置などを実施。そのほか青海工場における買電コスト負担をカバーするべく、水力発電所新設も行う。水力発電関連では、昭和電工も増強を計画している。

東ソーは、南陽事業所で発電用ボイラをリプレースする(2018年冬完成予定)。三菱ケミカルHDは、三菱化学・坂出事業所の集塵設備増設(2016年7月完成)に加え、同・鹿島事業所のエチレン設備で生産安定化に向けた改良工事(2016年6月完成)などを予定している。

■海外で大型案件も

一方、海外では引き続き大型の投資案件が進められている。JSRはハンガリーにおいて2018年の販売開始を目指し、現地企業と共同で年産6万トンのS-SBR(溶液重合スチレン・ブタジエンゴム)設備新設に着手した。日本触媒は、ベルギーで高吸水性樹脂(SAP)およびアクリル酸の増設を行う。完工は2017年10月末、商業運転は2018年5月を予定している。

三菱ガス化学は、三菱商事、三菱重工、現地企業などと共同で、トリニダード・トバゴでメタノール年産100万トン、ジメチルエーテル(DME)2万トン設備を新設する計画で、運転開始時期は2019年3月を予定している。

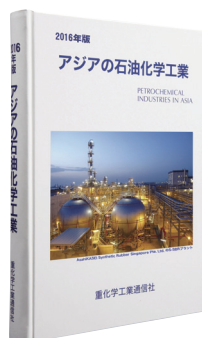
■化学16社の2016年度設備投資計画(抜粋)

企業名	2015年度 実績	2016年度 計画	増減率	設備投資内容
旭化成	990	1,000	+1.0%	宮崎でLiBセパレータのライン増設(50億円、2016年春完成)や、セルロース長繊維不織布の「ベンリーゼ」増設(2017年3月完成予定)、静岡でトロンボモジュリン製剤の「リコモジュリン」原薬工場建設(2017年4月完成予定)などを計画
宇部興産	344	480	+39.5%	継続案件が中心。堺工場の研究開発拠点新設、宇部ケミカル工場のCPL製法転換および硫安大粒品増産、宇部・堺でセパレータ増産な
カネカ	473	600 (推定)	+26.8%	マレーシアの変成シリコンポリマー「カネエースMSポリマー」設備新設、モディファイヤー「カネエース」シリーズ増設など
JSR	243	415	+70.8%	ハンガリーでS-SBR設備新設、中国・江蘇省でディスプレイ材料設備新設、東京都新宿区で慶応大学と共同研究棟新設
昭和電工	441	503	+14.1%	内訳として、石油化学事業で37億円、化学品事業で163億円などを計画。増強・合理化・維持更新投資がメインであり、台湾の合併で熱硬化性成形材料(BMC)の設備新設を進めているほか、自社水力発電所群の増強などを計画

単位：億円

石油化学の情報を広く培える信頼の年鑑本シリーズ

アジアの石油化学工業

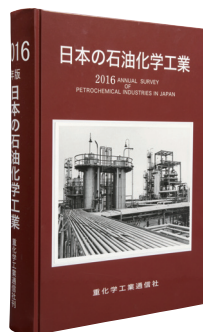


アジア・中東の石化情報を網羅し、事業変遷を解説

毎年12月刊

本体価格37,000円＋消費税

日本の石油化学工業

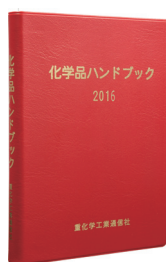


国内主要石化メーカーの生産体制と能力一覧を毎年更新

毎年11月刊

本体価格28,000円＋消費税

化学品ハンドブック

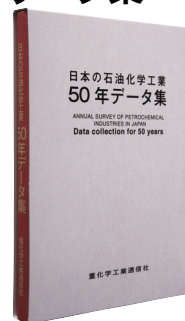


需給実績、主要製品の世界能力、価格推移がひと目でわかる、必携の書!

毎年6月刊

本体価格9,000円＋消費税

日本の石油化学工業 50年データ集



過去50年分の定点観測データを整理・集約

2011年12月22日発行

本体価格32,000円＋消費税

広告掲載のご案内

アジアの石油化学工業、日本の石油化学工業、化学品ハンドブックに広告を掲載しませんか

50年以上にわたり高く評価をいただいている書籍群です。

業界内外で幅広くお使いいただいております、年間の参照頻度も多いため、高い広告効果を見込めます。広告のご掲載をいただける場合は、掲載書籍を無料進呈致します。

詳しいお問い合わせは営業部までご連絡ください TEL:03-5207-3331

石油化学新報、Jchem-News 無料サンプル・購読申込書

詳しくは→ <http://jchem.jp/>

FAX:03-5207-3333

■ 無料サンプル申込み

- ☐ 石油化学新報
☐ Jchem-News

※サンプル期間は2週間となっております。

■ 購読申込み

- ご購読開始月 年 月より
☐ 石油化学新報 ☐ 1年 ¥82,000 + 税
☐ Jchem-News ☐ 半年 ¥44,000 + 税
石油化学新報 + Jchem-News
☐ 1年 ¥106,000 + 税 ☐ 半年 ¥56,000 + 税

ご送付先住所 〒

電話番号

FAX番号

メールアドレス ※ Jchem-News を利用される際に必要になりますので、必ずご記入ください。

貴社名

部署名

お役職名

ご芳名

ご請求先 ☐ 同上
☐ その他

(株)重化学工業通信社

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町 2-11 協友ビル TEL:03-5207-3331(営業部)